

第4回一関地区広域行政組合一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会会議録

- 1 会議名 第4回一関地区広域行政組合一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会
- 2 開催日時 平成30年9月12日（月）午後3時から午後4時30分まで
- 3 開催場所 いわて県民情報交流センターアイーナ研修室811
- 4 出席者
 - (1) 委員 中澤廣委員長、千葉啓子副委員長、大河原正文委員、
颯田尚哉委員、平塚明委員、山本博委員
欠席委員 東淳樹委員
 - (2) 事務局 尾形秀治事務局長、村上秀昭事務局次長兼総務管理課長、
吉田健総務管理課長補佐兼施設整備係長、中村謙介総務管理課主任主事
株式会社日産技術コンサルタント（2名）

5 議 事

- (1) 候補地選定手順の見直しについて
- (2) 第1次選定の結果について
- (3) 第2次選定の条件等について

6 公開、非公開の別 非公開

7 事務局長あいさつ

本日の会議では、3つの協議を予定している。

一つ目は候補地選定スケジュールの見直し、二つ目は第1次選定の結果について、三つ目は第2次選定の条件についてである。

委員の皆様には候補地選定途中でのスケジュール変更等で大変ご迷惑をおかけするが、よろしく願います。

8 協議内容

- (1) 候補地選定手順の見直しについて

事務局 これまで一関市狐禅寺地内を想定していた焼却施設の整備を、「エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備候補地選定委員会」を組織して整備候補地を選定することになった。最終処分場の候補地選定は先行して進んできているが、最終的な候補地の選定は焼却施設の整備候補地を考慮する必要があると考えることから、選定のスケジュールの見直しを行いたい。

見直し案を会議資料協議3により説明を行った。

委員 現地の確認作業等を行わないのか。

事務局 選定委員会は8回の開催を予定しているが、必要があれば現地調査を別に設

けたい。具体的には第2次選定が終わった後3～5か所に絞り込む前の段階を想定している。

委員 本日の協議は第2次選定の条件等とのことであり、第5回で本日決めた条件を基に事務局で資料を作成し条件を決定することのことだが、第5回の協議の内容が不明である。

事務局 第5回で本日の協議結果に基づく絞込みの状況を確認していただくが、それに条件を追加する必要が出ることも考えられる。またこの後の協議でも説明するが、住民からの土地情報の提供についても評価の対象にしたいということで、その情報提供の期間も確保したいため、第5回で協議し、2次選定の結果については4月に予定する第6回で決定と考えている。

(2) 第1次選定の結果について

会議資料協議2により第1次選定の結果を事務局から説明を行った。

委員長 これまで協議してきた第1次選定条件の結果に基づき絞り込まれた結果が図に示されているが、これについて意見や質問をお願いします。

委員 西端と東端は双方山岳地帯だが、西端のみ候補地が残っていないのはどのような理由か。

事務局 西端は広範囲が栗駒山の国定公園となっているため、第1次選定条件の自然公園地域により除外されている。

委員長 第1次選定結果については協議資料2の内容で決定する。

(3) 第2次選定の条件等について

事務局から、会議資料協議3及び各条件の影響範囲を重ねたGISの画面を示しながら説明し、前回協議した第2次選定条件に基づく絞込みの結果としては451か所のエリアが残ると説明した。

委員長 まずは、決定済み絞込み条件と追加絞込み条件について、意見や質問をお願いします。

委員 資料の施設等一覧に保育園があるが、認可外保育園は入れないのか。

事務局 認可外保育園は入れていない。同様に病院については医療法上の病院のみとして診療所等を含めず、老人介護施設については特別養護老人ホーム及び老人保健施設のみとしデイサービス等を含めていない。

委員 学校や病院等からの距離を300mとしているのはどのような理由か。

事務局 現在は廃止されている旧建設省からの古い通知で、廃棄物処理施設は学校、病院及び公園等から300m以上離して設置するように定められており、これを準用したものである。現在は廃止されているため、大都市等では学校に隣接し

て廃棄物処理施設が整備されているところも存在する。

委員 追加絞込み条件に「運搬経費の経済性」とあるが、中間処理施設の場所が決まっていない状況下でこのような項目を条件に入れることが妥当であるのか。

事務局 ご質問のとおり中間処理施設の場所が未確定な状況なので、直接的には運搬コストを考慮できない。決定済み絞込み条件である国道及び主要地方道から1.5kmの範囲内という条件があることから、今回示した人口重心から15kmの範囲内という条件は、運搬経費への経済性と十分な関係があると考え提案したものである。

委員 運搬経費の経済性という条件名称とする必要がないのではないか。

事務局 条件名称を訂正したい。

委員 新施設の周辺への影響についての確認のために質問するが、1日に何台程度のトラックが運搬することになるのか。

事務局 年間の埋立量と想定稼働日数で計算すると1日当たり20.6t程度となり、8t車では3～4往復程度と見込まれる。

委員 決定済み絞込み条件で十分に絞り込めないために追加絞込み条件案の提案を受けているが、決定済み絞込み条件の学校、病院等の施設からの距離を現在の300mから変更し、500mや1kmとするような提案はないのか。トラックによる騒音等の影響を考えれば、300m以上の距離とすることも考えられるのではないか。

事務局 焼却灰等の運搬車両は先の説明のように1日3～4往復程度と予想されるため、騒音の程度としては大きな影響を及ぼさないと考えられる。また、距離を通知以外の数値にするとその根拠等が希薄になるため難しい。

委員長 話の出た施設等からの距離の条件を300mから拡大するというのも良い案と思うが、本委員会での選定では300mのまま進めることにする。

委員 前回会議で人口重心を考慮する条件について、人口重心は実態と合わないのではないかとの話が出されていたが、その件についてはどのように決着したものであったか。

事務局 前回会議では、第2次選定後に考慮するとして第2次選定の条件から外した。決定済み絞込み条件では十分に絞り込めない状況であり、人口重心からの距離を条件としても十分に候補地が残ることから再度提案するものである。

委員長 それでは決定済み絞込み条件と追加絞込み条件は事務局案のとおりとする。続いて簡易評価案について意見や質問をお願いします。

簡易評価案を資料により説明を行った。

協議の結果、事務局において内容を再度見直し、次回の委員会において再提案することとされた。

事務局 次回までに第2次選定の未確定である部分を精査し、委員会にお諮りするということによいか。

委員長 次回会議で最終的な評価方法を決定し、その決定を受けてから評価と順位付けを行い、4月の会議で第2次選定結果を決定し、第3次評価の候補地とすること進めてほしい。

事務局 承知した。

委員 重要な評価となるので、「簡易」という名称は削除した方がよいかと思う。

事務局 名称は訂正する。

9 担当課 総務管理課